

災害支援委員会令和 6 年度活動計画

重点課題

- ①令和 6 年能登半島地震の支援者支援
- ②研修会の充実
- ③各支部の協力委員と支部長との連携強化

事業計画

- ①令和 6 年能登半島地震の支援者支援
 - ⇒支援対象者を絞った研修(ハイブリット方式)。研修後に対面相談
 - ⇒継続的ニーズ調査
 - ⇒支部との協力
 - ⇒資料提供
 - ※ニーズに応じて、支援を追加していく。また、支援ができるように体制を構築していく。

- ②資格更新研修
 - ⇒年に 2 回予定
 - ・西川一弘先生 宮定章先生 江口怜先生 等を検討している

- ③各支部の協力委員と支部長との連携強化
 - ⇒総会后、直ぐに顔合わせを兼ねた、ハイブリット型の研修を実施する。

- ④役員会議
 - 4 月 年度計画・運営確認
 - 7 月 理事会の情勢確認、活動報告確認
 - 11 月 理事会の情勢確認、活動報告確認
 - 3 月 理事会の情勢確認、活動報告確認
 - ⇒研修会前や必要に応じて、会議を行う。

予算の根拠となるもの

- ・大きな災害が起こった時に、現地に行ってニーズを調査したり、支部を応援することが必要になるケースもある。そのため、調査費という形で予算を計上している。支部と協力しながら研修会を定期(災害時期に応じて)に実施していく予定。
- ・また、今後震災がない方がいいのだが、ある可能性もあるため、それも踏まえて予算を計上している。